

Ⅲ 履修について

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次								単位数			
			1年		2年		3年		4年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門科目	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論Ⅰ	8			○							1	
		地域・在宅看護学概論Ⅱ	8			○							1	
		地域・在宅看護学援助論	15					○					2	
		地域・在宅看護学援助方法	15						○				1	
		地域包括ケア論	8						○				1	
		成人看護学	成人看護学概論	8		○							1	
			成人看護学援助論	15			○						2	
			成人看護学援助方法	30				○					2	
		老年看護学	老年看護学概論	8			○						1	
			老年看護学援助論	15				○					2	
			老年看護学援助方法	15					○				1	
		小児看護学	小児看護学概論	8			○						1	
			小児看護学援助論	15				○					2	
			小児看護学援助方法	15					○				1	
		母性看護学	母性看護学概論	8			○						1	
			母性看護学援助論	15				○					2	
			母性看護学援助方法	15					○				1	
		精神看護学	精神看護学概論	8			○						1	
			精神看護学援助論	15				○					2	
			精神看護学援助方法	15					○				1	
		看護の基盤と応用	看護過程展開方法	15			○						1	
			家族支援論	8			○						1	
			救急救命学	15						○				2
			クリティカルケア看護学	8							○			1
			周術期看護論	15			○						2	
			リハビリテーション論	15							○			2
			緩和ケア論	8			○						1	
		看護の統合と実践	医療安全管理論	8							○		1	
			災害看護論	15						○			2	
			看護管理論	8							○		1	
			国際看護論	8							○			1
			スタートアップセミナー	15		○							1	
			キャリアデザインセミナー	8				○					1	
			看護研究Ⅰ	8						○			1	
			看護研究Ⅱ	15								○	1	
			看護学総合講義	15									○	2
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	40h	○								1	
			基礎看護学実習Ⅱ	80h		○							2	
			地域・在宅看護学実習Ⅰ	40h			○						1	
			地域・在宅看護学実習Ⅱ	40h						○			1	
			領域横断看護実習	120h				○					3	
			成人看護学実習	120h					○				3	
		老年看護学実習	120h					○				3		
		小児看護学実習	80h					○				2		
		母性看護学実習	80h					○				2		
		精神看護学実習	80h					○				2		
		統合実習	120h							○		3		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論 *	8			○							1	
		公衆衛生看護学援助論Ⅰ *	15					○					2	
		公衆衛生看護学援助論Ⅱ *	15						○				2	
		公衆衛生看護学援助方法 *	15							○			1	
		公衆衛生看護管理論 *	15						○				2	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ *	40h					○					1	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ *	120h								○		3	

卒業要件単位数 124単位以上（保健師課程 135単位以上）

*の科目は保健師課程を選択した場合、必修科目として履修。ただし、「公衆衛生看護学概論」については、看護師課程のみ履修する学生も選択できます。

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) 看護学部に4年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は8年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること

必修科目115単位及び選択科目9単位以上、合計124単位以上を「教養科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」から以下のとおり修得すること。

科目区分	卒業要件単位数		
	必修	選択	計
教養科目	15単位	5単位以上	20単位以上
専門基礎科目	24単位	4単位以上 * 「疫学」、「保健情報論」、「救急救命学」、 「クリティカルケア看護学」、「リハビリ テーション論」、「国際看護論」、「公衆衛生 看護学概論」から選択	104単位以上
専門科目	76単位		
合計	115単位	9単位以上	124単位以上

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

看護学部の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、看護師国家試験の受験資格が得られるとともに、学士（看護学）の学位が与えられます。

Ⅲ 履修について

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次								単位数		
			1年		2年		3年		4年		必修	選択	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	8				○					1	
		栄養学	8		○							1	
		救急救命学	8	○								1	
		公衆衛生学	8					○				1	
		言語聴覚療法概論	8				○					1	
		臨床検査・画像診断学	8					○				1	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15		○							2	
		チームアプローチ入門	15				○					1	
		保健医療福祉連携論	15							○		1	
専門科目	基礎理学療法学	理学療法学概論	15	○								2	
		トランスレーショナルセミナーⅠ	15		○							1	
		トランスレーショナルセミナーⅡ	15				○					1	
		トランスレーショナルセミナーⅢ	15					○				1	
		トランスレーショナルセミナーⅣ	15							○			1
		理学療法研究法Ⅰ	8						○			1	
		理学療法研究法Ⅱ	30							○			2
	理学療法管理学	理学療法管理学	15						○			2	
	理学療法評価学	理学療法評価学	8			○						1	
		基礎理学療法評価学実習	20			○						1	
		運動器障害理学療法評価学実習	20				○					1	
		神経障害理学療法評価学実習	20					○				1	
		内部障害理学療法評価学演習	15						○			1	
		理学療法評価学総合実習	20						○			1	
	理学療法治療学	運動器障害理学療法学	15					○				2	
		運動器障害理学療法学演習	30						○			2	
		神経障害理学療法学	15					○				2	
		神経障害理学療法学演習	30						○			2	
		高次脳機能障害学	8						○			1	
		内部障害理学療法学	15					○				2	
		内部障害理学療法学演習	30						○			2	
		神経筋疾患理学療法学	15						○			2	
		小児理学療法学	8					○				1	
		物理療法学	15			○						2	
		物理療法学演習	15				○					1	
		義肢装具学	15					○				2	
		義肢装具学演習	15						○			1	
日常生活活動学		15				○					2		
日常生活活動学実習		20					○				1		
予防理学療法学		15							○		2		
スポーツ理学療法		30								○		2	
疼痛理学療法		8								○		1	
先端理学療法		8								○		1	
臨床実習		臨床実習Ⅰ（体験実習）	45h		○							1	
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	180h					○				4		
	臨床実習Ⅲ（総合実習）	315h							○		7		
	臨床実習Ⅳ（総合実習）	315h							○		7		
	地域リハビリテーション実習	45h					○				1		
地域理学療法学	地域理学療法学	8					○				1		
	地域理学療法学演習	15						○			1		
	生活環境論	8							○		1		
特別演習	理学療法学総合演習Ⅰ	15						○			1		
	理学療法学総合演習Ⅱ	15								○	1		
総計（卒業要件129単位以上）											125	15	

Ⅲ 履修について

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次								単位数			
			1年		2年		3年		4年		必修	選択		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	8					○				1		
		言語聴覚療法概論	8			○						1		
		臨床検査・画像診断学	8				○					1		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15		○								2	
		チームアプローチ入門	15			○							1	
		保健医療福祉連携論	15							○			1	
専門科目	基礎作業療法学	作業療法学概論	8	○								1		
		基礎作業学	8		○							1		
		基礎作業学演習Ⅰ	15				○					1		
		基礎作業学演習Ⅱ	15						○				1	
		トランスレーショナルセミナーⅠ	15		○							1		
		トランスレーショナルセミナーⅡ	15			○						1		
		トランスレーショナルセミナーⅢ	15					○				1		
		トランスレーショナルセミナーⅣ	15							○			1	
		作業療法研究法Ⅰ	8						○			1		
	作業療法研究法Ⅱ	30							○			2		
	作業療法管理学	作業療法管理学	15							○		2		
	作業療法評価学	作業療法評価学	8			○						1		
		身体障害作業療法評価学演習Ⅰ	15			○						1		
		身体障害作業療法評価学演習Ⅱ	15				○					1		
		精神障害作業療法評価学演習	15			○						1		
高次脳機能障害作業療法評価学演習		15				○					1			
作業療法治療学	作業療法理論	15					○				2			
	身体障害作業療法学Ⅰ	15					○				2			
	身体障害作業療法学Ⅱ	15						○			2			
	身体障害作業療法学演習	30					○				2			
	精神障害作業療法学	15					○				2			
	精神障害作業療法学演習	15						○			1			
	高齢期作業療法学	8					○				1			
	高齢期作業療法学演習	15						○			1			
	発達障害作業療法学	8					○				1			
	高次脳機能障害作業療法学	8						○			1			
	日常生活活動学	15					○				2			
	義肢装具学	15						○			2			
	福祉レクリエーション論	8							○			1		
先端作業療法	8								○		1			
臨床実習	臨床実習Ⅰ（体験実習）	90h		○							2			
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	225h					○				5			
	臨床実習Ⅲ（地域実習）	45h					○				1			
	臨床実習Ⅳ（総合実習）	405h							○		9			
	臨床実習Ⅴ（総合実習）	405h							○		9			
地域作業療法学	地域生活支援論	8		○							1			
	地域作業療法学	8					○				1			
	職業リハビリテーション論Ⅰ	8						○			1			
	職業リハビリテーション論Ⅱ	8							○		1			
	生活環境論	8				○					1			
福祉住環境論	8							○			1			
特別演習	作業療法学総合演習Ⅰ	15						○			1			
	作業療法学総合演習Ⅱ	15							○		1			
総計（卒業要件129単位以上）											125	16		

Ⅲ 履修について

2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) リハビリテーション学部に4年以上在学すること。

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は8年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること。

必修科目125単位、教養科目の選択科目から2単位以上、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、129単位以上修得すること。

	理学療法学専攻	作業療法学専攻
教養科目	(必修) 18単位 (選択) 2単位以上	(必修) 18単位 (選択) 2単位以上
専門基礎科目	(必修) 41単位	(必修) 42単位
専門科目	(必修) 66単位 (選択) 2単位以上	(必修) 65単位 (選択) 2単位以上
卒業要件：129単位以上		

3 卒業要件充足に伴う資格と学位

リハビリテーション学部の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、理学療法士または作業療法士国家試験の受験資格が得られるとともに、学士（理学療法学）または学士（作業療法学）の学位が与えられます。